

大規模地震が発生したら

Quando ocorreu um grande terremoto. / Kapag nagkaroon ng malakas na lindol. / 大地震起来了时。

ゆれがおさまり次第 Após o tremor parou. / Kapag sa bala ng lindol ay tumigi. / 摇晃结束之后, 马上。

① 正門前(一時集合場所)で点呼確認

Em frente ao portão principal, peço o nome de cada pessoa e verifico se há todos membros. / Sa harap ng main gate, magkakaroon ng roll call. / 在前面正门的点名确认。

その後直ちに Posteriormente imediatamente. / Pagkatapos, agad. / 此后马上。

② (株) ■■■■ 2階(津波避難場所)に避難

Refugiar-se no segundo andar da empresa "■■■■". / Mangyaring lumikas sa ikalawang palapag ng "■■■■". / 向2楼隣工場「■■■■」、避難。

隣接する企業

目標15分以内

ポルトガル語/フィリピン(タガログ)語/中国語

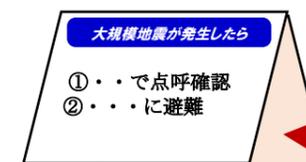
- 最大津波高さは標高3.5m。 当地の標高は4.8m。
- 津波到達時間は57分。(津波は第2波、第3波があるので要注意)
- 非常食・水、毛布(断熱シート)は、**事務所内に保管。**

津波避難の際は必ず備蓄品(非常食・水等)をもって避難のこと。



地震発生時には、
このシートを持ち出す
こと。

★裏面に避難マニュアル記載



大規模地震・津波 避難マニュアル

1. 地震・津波からの避難

(1)被害想定

- (想定する地震) 南海トラフ地震 [過去地震最大モデル]
 ※過去に南海トラフで繰り返し発生している地震(宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震)を重ね合わせた地震モデル。
- (最大震度) 震度7
- (最大津波高) 標高3.5m(平均満潮位含む)
- (津波到達時間) 57分 ※愛知県被害予測調査結果(平成26年5月)より

(2)地震・津波からの避難の原則

- ①大規模な地震が発生したときは、直ちに避難を開始する。
 (上司の指示を待つことなく行動すること。)
- ②安全な建物の2階以上に避難する。
 (海岸沿い、道路は地盤が低いので近づかない。浸水の可能性がある。)
 (避難後の行動は、最新の情報を入手して判断する。)

(参考) 災害情報等の入手方法

災害情報の収集

- テレビ KATCH 緊急災害放送
地上デジタル12ch
- パソコン・携帯電話 KATCH 災害サイト
<http://www.katch-i.jp>

QRコード



- ラジオ PitchFM (ピッチFM)
83.8MHz

KATCHとPitchFMは、行政と災害時の放送に関する協定を締結しています。災害時には、各市の災害対策本部と連携し、被災状況や避難情報を発信します。

安否確認

- 災害用伝言ダイヤル
災害時は携帯電話を含めた一般の電話がつながりにくくなるので公衆電話を利用。

1 7 1

録音時間 1伝言あたり30秒以内
 保存期間 録音してから2日(48時間)
 蓄積数 1電話番号あたり1~10伝言
※伝言蓄積数や保存期間等は災害の状況により異なります。

伝言の録音方法

伝言の再生方法

171をダイヤル

171をダイヤル

1をダイヤル

2をダイヤル

××××-××-××××
市外局番からダイヤルしてください。

被災地の方は自宅の電話番号をダイヤルしてください。

被災地の方の電話番号をダイヤルしてください。

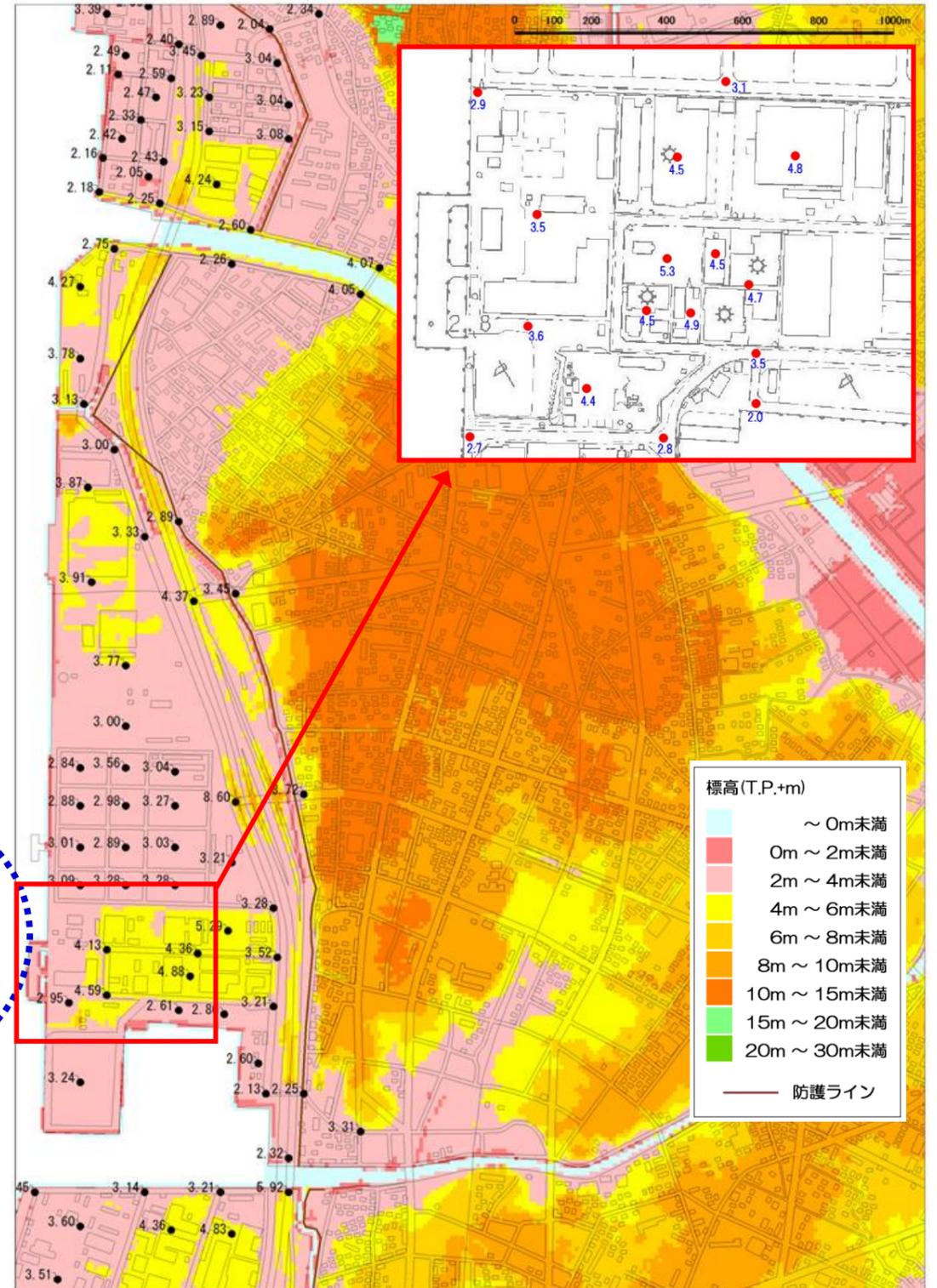
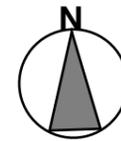
録音

再生

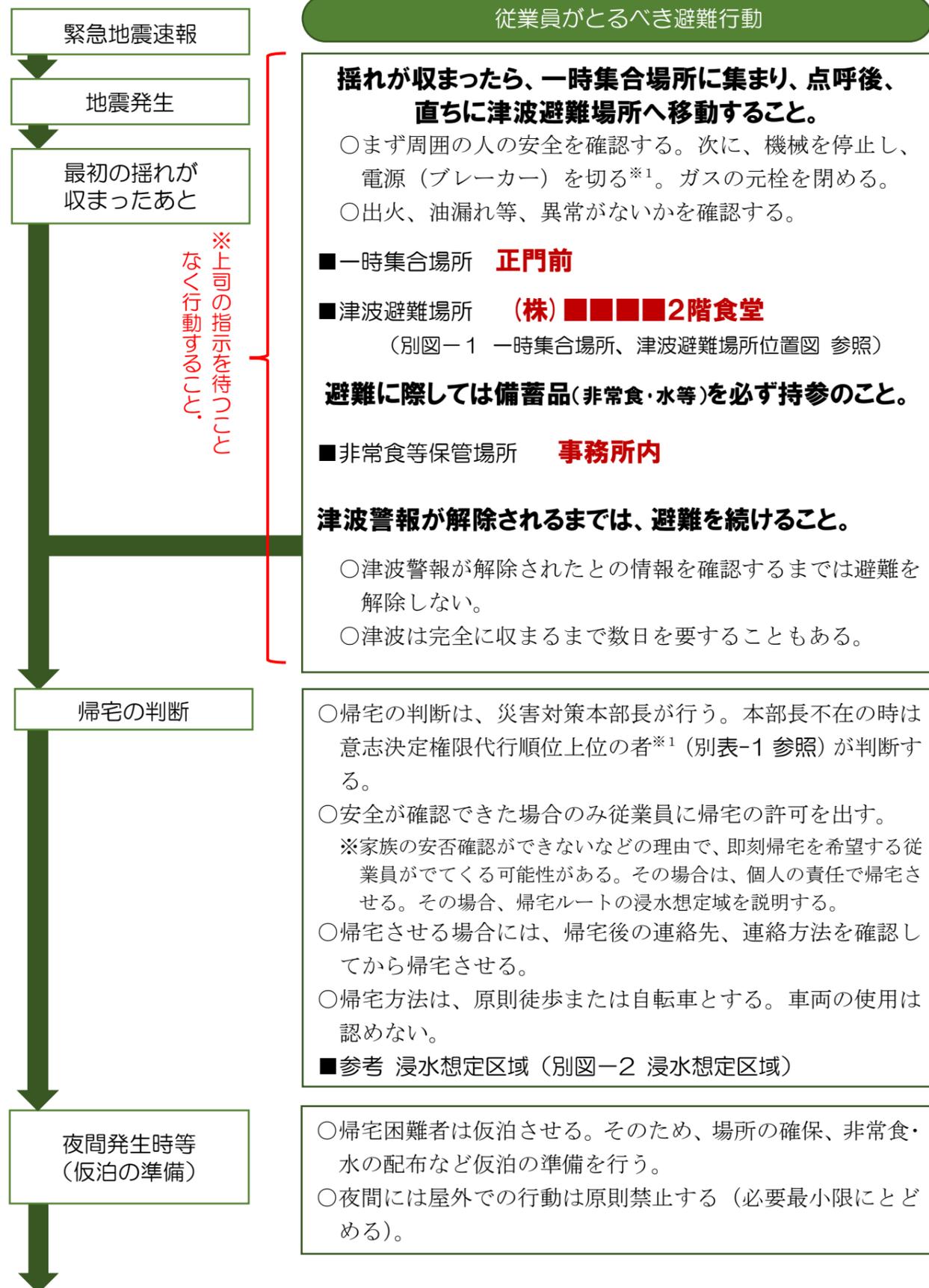
(3)8号地地区・新川地区の地盤高(標高)

- 工場敷地内の標高は4.8m。
- 最大津波高は標高3.5mであり、建物が大きく水をかぶるような津波は来ない。
- 地震発生後は、液状化により地盤面がこれより低くなる場合がある。

図-1 標高図(●号地地区)



2. 避難行動フロー(初動時)



別表-1 災害対策本部 構成員

災害対策本部 役職	氏名	所属・役職	災害対策本部 意思決定代行順序
本部長	〇〇〇〇	代表取締役社長	—
本部員	〇〇〇〇	工場長	第1順位
本部員	〇〇〇〇	製造課長	第2順位
本部員	〇〇〇〇	製造班長	第3順位
本部員			第4順位

○災害対策本部長が不在の時は、権限順序のとおりその代行者を定める。

○災害対策本部員が不在で連絡がつかない場合には、その場にいる役職上位の者が判断する。

災害復旧
事業継続活動
に向けて

災害対策本部が立ち上がった場合には、本部の指示に従う。

災害対策本部の設置

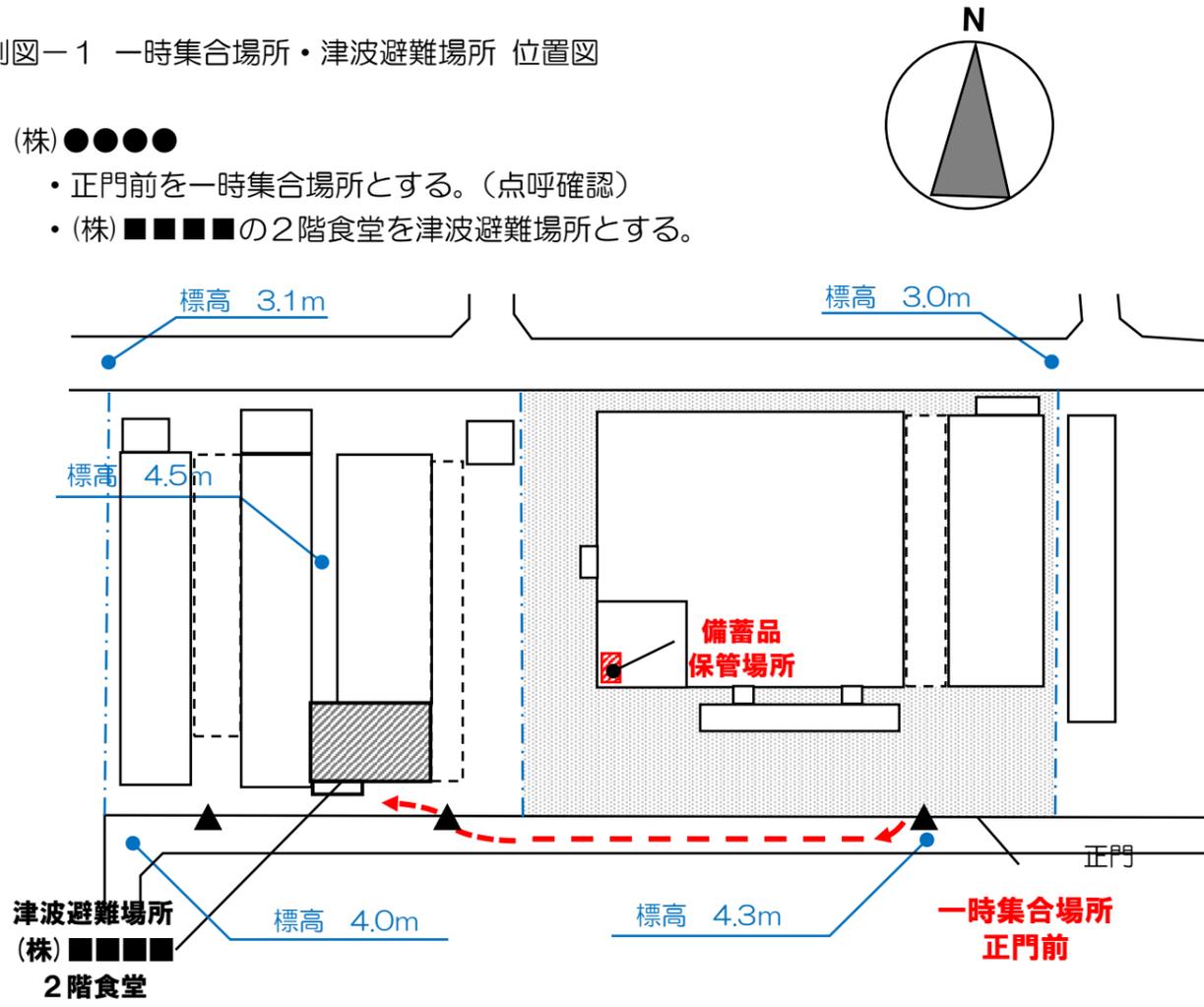
- 地震発生後、緊急避難行動（津波避難場所への避難）が完了し、安全が確保できたとき直ちに、災害対策本部を組織する。
- 災害対策本部は、別表-1の構成員で組織する。

災害復旧・事業継続活動に向けて

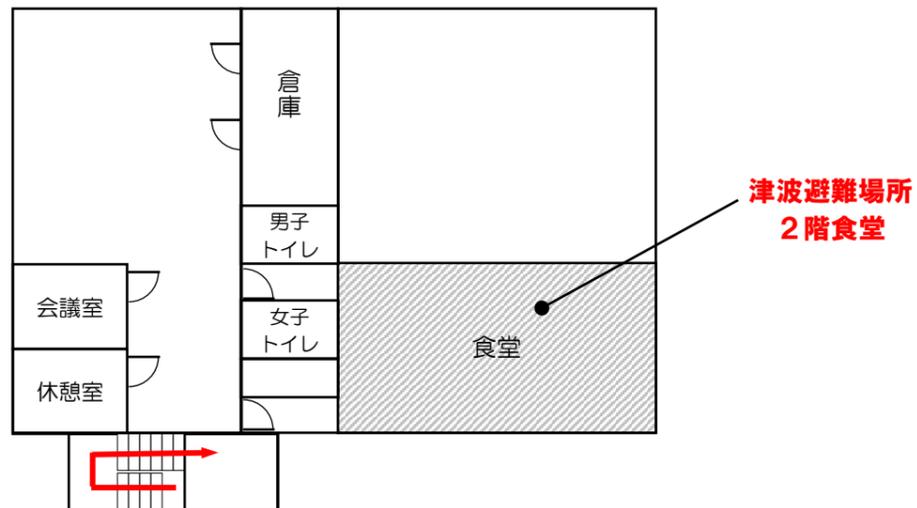
- 災害対策本部は、下記の事項への対応を検討し指示する。
 - ①従業員の安否確認（外出／出張中社員の安否確認）
 - ②救急・救命対応（けが人が発生した場合の緊急搬送）
 - ③外部からの情報収集（公共交通機関・道路状況、水道・電気・ガス等被害状況、市街地の被災状況など）
 - ④社内・場内の被害状況の確認
 - ⑤外部への情報発信（重要関係先への連絡ほか）
 - ⑥応急復旧への対応（復旧要員の確保、緊急物資の調達、在庫製品の排出など）

*1：大規模な地震などによる停電が復旧し、通電が再開される際に発生する火災（通電火災）を防ぐため、揺れの影響で配線被覆が傷付き、復旧した際に配線がショートし火災が発生した事例があります。

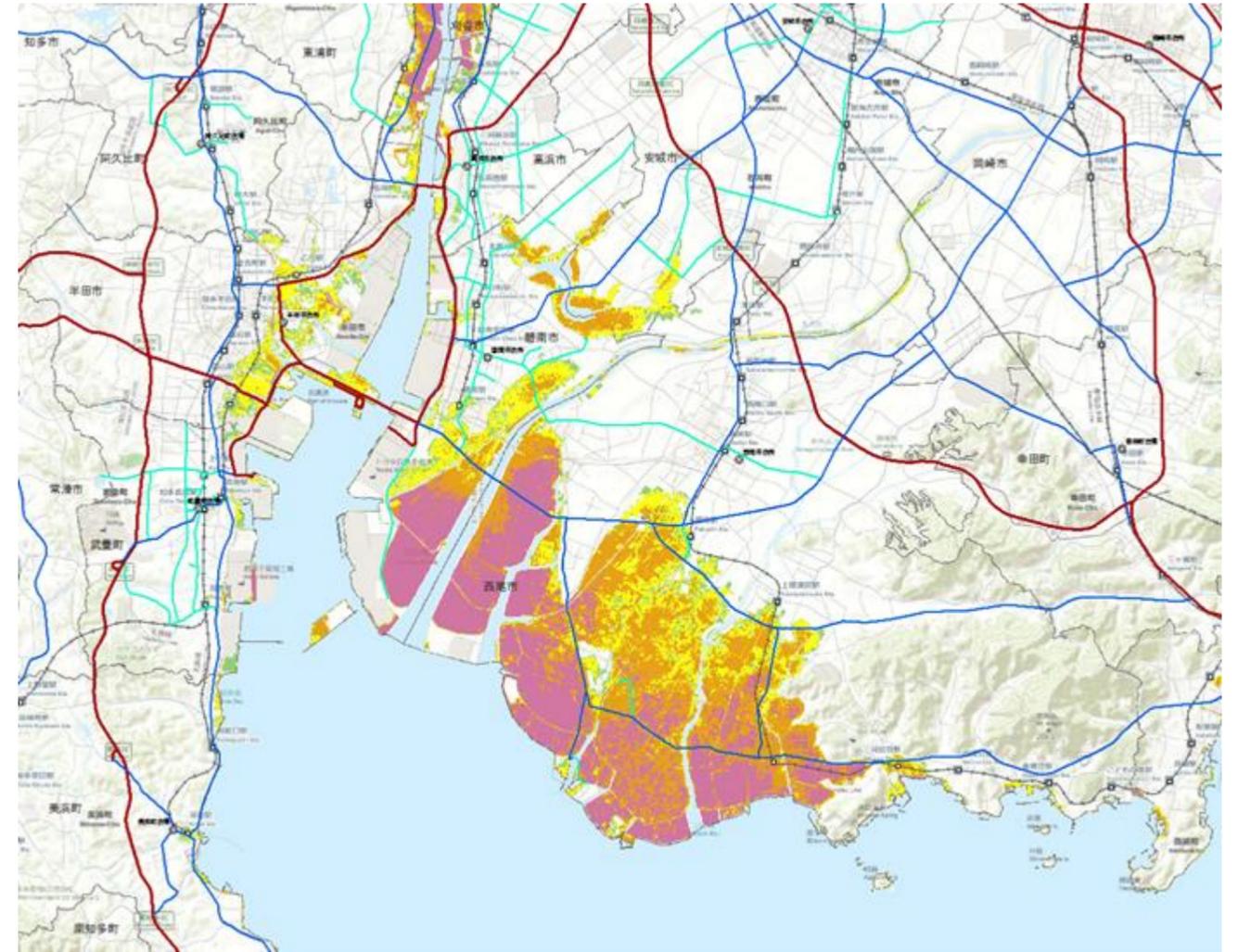
別図-1 一時集合場所・津波避難場所 位置図



(株) ■■■■■階 見取り図



別図-2 浸水想定区域



出典：愛知県発表津波浸水想定（平成 26 年 11 月 26 日）：愛知県、各市地域防災計画